

貝塚市会計報告

一般会計

令和7年度決算は、一般会計の形式収支(歳入・歳出差引額)が1億2,110万円、実質収支(形式収支から翌年度へ繰越すべき財源を控除した額)が4,756万円で、昨年度に引き続き黒字決算となり、特別会計(4会計)も含めすべて黒字決算になりました。

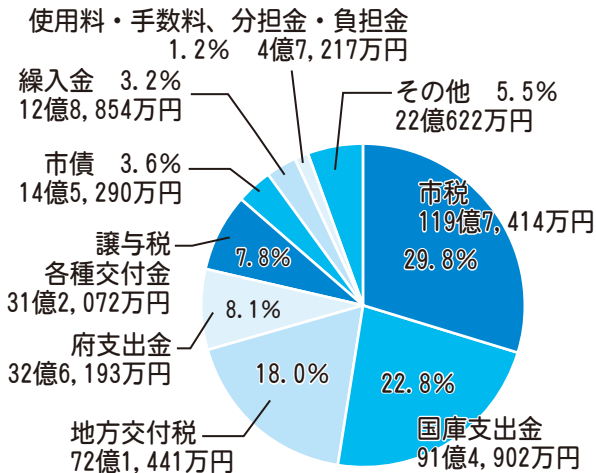
貝塚市の財政がわかる！
(財政状況の見える化)



【問合せ先】 行財政管理課 ☎072-433-7267

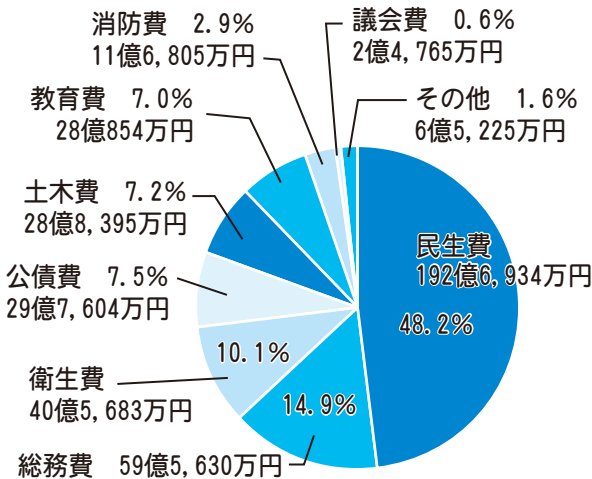
■歳入■

401億4,005万円



■歳出(目的別)■

400億1,895万円



■令和7年度の主な取り組み

◎岸和田市貝塚市斎場整備事業
(新斎場の建設)



◎子どもの居場所づくり事業

- ・子ども食堂支援事業
- ・留守家庭児童会開設時間の繰り上げ
- ・「まちライブラリー」を通じた子どもの居場所づくり
- ・図書館や歴史展示館の活用



■会計別決算額

※金額は端数調整を行い万円単位で表示

会 計 名		歳入額	歳出額	形式収支額 (歳入・歳出差引額) (A)	翌 年 度 繰越財源 (B)	実質収支額 (A) - (B)
一 般 会 計		401億4, 005万円	400億1, 895万円	1億2, 110万円	7, 354万円	4, 756万円
特 別 会 計		202億7, 240万円	189億3, 191万円	13億4, 049万円	0円	13億4, 049万円
内 訳	国民健康保険事業	90億8, 523万円	87億9, 001万円	2億9, 522万円	0円	2億9, 522万円
	財 産 区	9億1, 347万円	3, 535万円	8億7, 812万円	0円	8億7, 812万円
	介護保険事業	86億8, 565万円	85億7, 636万円	1億 929万円	0円	1億 929万円
	後期高齢者医療事業	15億8, 805万円	15億3, 019万円	5, 786万円	0円	5, 786万円

公営企業の資金不足比率

病院事業会計	水道事業会計	下水道事業会計
— (20.0%)	— (20.0%)	— (20.0%)

— は、資金不足となっていないため、該当していないことを示します。()は各公営企業の経営健全化基準の数値です。

健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (12.46%)	— (17.46%)	6.4% (25.0%)	17.4% (350.0%)

— は、赤字がないため赤字比率が該当していないことを示します。()は市の早期健全化基準の数値です。

決算とその他指標
などについて



詳しくはこちら

企業会計

■病院事業■

病院総務課 ☎072-438-5500

令和7年度の貝塚病院の利用状況は、延べ患者数で入院が7万1,122人(前年度比1,636人、率にして2.4%の増)、外来が15万4,710人(同3,295人、同2.1%の減)となりました。

また、医療機能充実のため、高精度放射線治療システムなどを整備しました。

経営状況は、8億6,308万円の純損失を計上し、経常収支は8億5,292万円で、赤字となりました。

今後も、地域住民を支える良質な医療を提供するため、引き続き健全経営に努めます。

地方公営企業法(地方公共団体の経営する企業および事業に適用される法律)に基づき、独立採算を基本とする企業的経営を行うものの会計をいいます。

■会計別決算額

※金額は端数調整を行い万円単位で表示

区分	病院事業	水道事業	下水道事業
収益的収入	84億2,715万円	18億3,906万円	24億5,447万円
収益的支出	92億9,023万円	19億6,771万円	24億3,736万円
収支差引	-8億6,308万円	-1億2,865万円	1,711万円
経常収支	-8億5,292万円	-1億2,800万円	1,657万円

■水道事業■ 上下水道総務課 ☎072-433-7142

令和7年度の給水状況は、有収水量は875万6,433m³となり、前年度と比較して19万64m³(2.1%)減少しました。

経営状況は、総収益18億3,906万円に対し、総費用19億6,771万円で、差引1億2,865万円の純損失を計上し、昨年度に引き続き赤字となりました。

今後も引き続き安全安心な水道水を安定してお届けできるよう健全経営に努めます。

■下水道事業■ 上下水道総務課 ☎072-433-7180

令和7年度の汚水処理状況は、流域下水道で共同処理しており、有収水量は、594万8,376m³となり、前年度と比較して13万1,058m³(2.2%)減少しました。

経営状況は、総収益24億5,447万円に対し、総費用24億3,736万円で、差引1,711万円の純利益を計上し、引き続き黒字となりました。

今後も安定的な下水道サービスを持続できるよう健全経営に努めます。